保 健 だ よ り

奈良中学校　保健室　：　R4.12.22

＜　学校教育目標:「世界を小とせよ」奈良中生

知性をみがく生徒　愛情深き生徒　体を鍛える生徒　＞

２年生は、12月中旬に性に関する授業を行いました。授業の内容を紹介しますので、保護者の皆様も一緒にご覧ください。

2年生～中学生として望ましい男女での関わりについて～

中学生のこの時期は、思春期真っただ中で、異性への興味や、性的な興味・関心が強くなる傾向があります。人を好きになったり、性行動に興味をもったりすることは、発達段階においてごく自然なことです。（もちろん個人差もあります。）しかし、過激で、時として誤った性情報が子供たちを混乱させる危険性があります。そこで、『中学生として望ましい男女での関わりについて」というテーマで授業を行いました。授業のはじめに、心や体についての事前アンケートの集計結果などを紹介しました。

〇「お付き合いしている Y 男くんと A 子さんのやりとり」を読んで、その二人の会話から感じたことや問題点を考えてもらいました。

キスを迫るＹ男に対して出た意見

・自分勝手

・相手のことを考えていない。

・A子が悪いと思っている。

Ｙ男に対してはっきり気持ちを言えないＡ子に対して出た意見

・はっきりY男に伝えたほうがいい。

・Y男のことを思っていて優しいと思うけど、もう少しはっきり言ってもよいと思う。

どうしても困ったときには、誰かに相談をしましょう。しかし、友人に相談したことがきっかけで、広まってほしくないことまで広まってしまうことも考えられます。ただ、命にかかわること、体に関わること、どうしても自分では解決できないことは大人に相談しなければいけません。

中学生として、望ましい男女交際を考えたときに異性間のマナーとルールが大切になります。「相手を思いやる」「二人きりにならないようにする」「自分の意見をしっかり伝える」ということも大切です。そして、**自分の体を守る、大切にするという意識を常に持ってほしいと思います。**また、大脳の働きについても学びました。人間は本能を理性でコントロールすることができます。**衝動的に行動せず、じっくり考えて行動できる人になってもらいたいと思います。**

〇生徒の感想を紹介します。

＊人が嫌がることはしないようにしたい。話をするときも相手が傷つかないように話をしたいと思う。

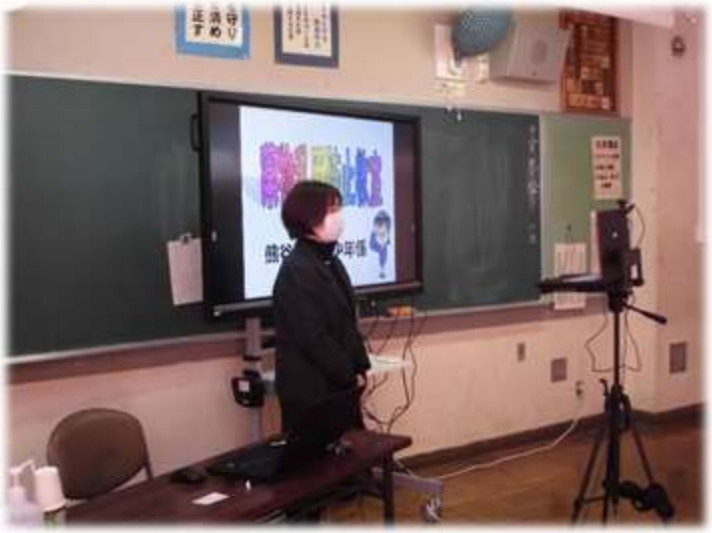
＊自分の意思を相手に押し付けるのではなくて、相手の気持ちや意見を尊重することが大切なんだと改めて分かった。

＊Ａ子の立場に立った時、その時その時で、断り方や相手も嫌じゃない伝え方ができる人になりたいと思いました。

＊男子と女子では性的興奮に大きな差があることがわかった。相手の気持ちを考えて行動することを心掛けたい。

＊薬物乱用防止教室＊

令和４年１２月９日（金）５校時に、熊谷警察署生活安全課から講師の先生が来校し、全校生徒を対象とした薬物乱用防止教室を行いました。今年度は、感染症・寒さ対策のため、オンライン配信とし生徒は各教室で視聴をしました。



～生徒の感想の一部を紹介します～

＊薬物乱用とは、医療薬品を医療目的以外に使うことと、法律で禁止されている薬物を使うことがわかりました。
＊成人は１８歳だけど、お酒やたばこは２０歳からということをしっかり覚えます。
＊誘われたときは、Ｄ作戦を使って、「でも～」「だって～」「どうして～」のようにしっかり断ります。人通りの少ない暗い方へ逃げてしまうのはたしかに危ないので、人通りの多い明るい方へ行きます。ネットの人ではなく身近な大人の人に相談をします。
＊薬物が、ラムネのようにキャラクターや会社のデザインが絵柄になっていることが衝撃だった。

＊１月の保健行事＊

行　事	年　月　日	講　師	対　象
生命（いのち）の授業 （第２回学校保健委員会）	令和５年１月２５日（水）	くまがやピンクリボンの会	１年生 １年生保護者 ＰＴＡ学校保健委員

１ 年生保護者・ＰＴＡ学校保健委員の皆様には、保護者参加のご案内メールを１２月１４日に配信しました。